



姉妹都市ダンディ村使節団

Can't forget the memories



ブリスベン派遣生

平成24年度燕市国際交流事業 報 告 書

平成24年度燕市国際交流事業報告書 目次

はじめに 燕市長 鈴木 力	1
ブリスベン派遣生体験報告目次	2
ブリスベン日程	3
ブリスベン派遣生体験報告	4
ブリスベン派遣生アンケート集計結果	36
ダンディ村使節団員活動報告目次	40
ダンディ村使節団滞在日程	41
ダンディ村使節団員感想・ホストファミリー活動報告	42
ダンディ村使節団体験活動協力者の感想	52
「広報つばめ10月1日号」で紹介した本年度の国際交流事業	54
随行職員のコメント	56

はじめに

燕市長 鈴木 力



燕市の国際交流事業では、姉妹都市提携を結ぶアメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村とウィスコンシン州シェboyガン市と生徒の親善交流を行っています。

また、次代を担う人材を育成する目的で中学生海外派遣事業を行っております。

平成24年度はダンディ村から生徒4人、引率教師1人の使節団を受け入れ、オーストラリア・ブリスベンへは中学生16人を派遣しました。

ダンディ村使節団のみなさんは市内の家庭にホームステイをしながら、日本の生活を体験し、学校訪問をしたり、日本の文化に触れたりしました。姉妹都市交流は、ホストファミリーのみなさまの協力があって、継続していけるものです。今回、慣れない日本の生活で戸惑うダンディ村の使節団を温かく迎えてくださったホストファミリーのみなさまには心から感謝いたします。

ブリスベンへの派遣生は、言葉や文化の違い、慣れない生活様式に戸惑いながらも、それぞれが掲げた大きな目標に向かって努力してきたことが体験報告からうかがい知ることができます。難しい状況を自分の力で乗り越えたという自信を、未来への歩みの大きな力にしていだきたいと思います。

世界がますますグローバル化していく中で、それぞれの国の人々が、互いの国や文化を理解し合うことが必要になっています。国際交流事業を通じて市民のみなさんの国際理解が深まり、国際感覚が磨かれ、燕市のまちづくりの重要な要素になっていくことを切に希望するとともに、これからも未来を担う子ども達の育成に力を注いでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

ブリスベン派遣生体験報告目次

感謝の思い出	分水中学校2年	石 口 唯	4
That's OK!	燕中等教育学校3年	内 山 香	6
I Love Australia!	燕北中学校2年	梅 田 愛 永	8
オーストラリアでの日々	吉田中学校3年	大 竹 真 湖	10
最高の夏	吉田中学校3年	大 原 え み	12
初めての海外派遣事業	燕中学校2年	笠原夕宇璃	14
ICHIGO★ICHIE	吉田中学校3年	川 上 奈 桜	16
Memories of Australia	燕中学校2年	後藤菜々星	18
ホームステイを体験して	燕中学校2年	佐藤日菜子	20
海外派遣で学んだこと	燕北中学校3年	白 椿 悠 稀	22
私の第二の故郷・Australia!	新潟清心女子中学校2年	玉 川 開 華	24
Thank you Australia♥	燕中等教育学校3年	外 山 歩 実	26
Sweet Smile Days	分水中学校3年	平 沢 葵 衣	28
Beautiful World	分水中学校3年	前 山 未 来	30
The second family♡	分水中学校3年	柳 下 瑞 帆	32
My summer vacation memory	吉田中学校3年	若 杉 真 由	34

平成24年度 海外派遣事業（オーストラリア・ブリスベン方面）日程

日にち	内 容
8月1日（水）	・ 6：45 燕市役所吉田庁舎出発、新潟空港へ ・ 9：30 新潟空港出発（KE764）、仁川空港（韓国）へ ・ 11：00 ソウル着→市内見学（景福宮、青瓦台、仁寺洞） ・ 19：35 仁川空港出発（KE123）、ブリスベンへ (機中泊)
8月2日（木）	・ 6：45 ブリスベン着→市内見学（マウントクーサ展望台、ローン パインコアラサンクチュアリ） ・ クリーブランドディストリクト州立高校到着、オリエンテーション 終了後、ホストファミリーと対面→ホストファミリー宅へ (ホームステイ)
8月3日（金）	学校プログラム（地理・英語レッスン・日本語） (ホームステイ)
8月4日（土）	ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)
8月5日（日）	ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)
8月6日（月）	学校プログラム（工作・音楽・英語レッスン・日本語） (ホームステイ)
8月7日（火）	学校プログラム（体育・ダンス・日本語） (ホームステイ)
8月8日（水）	学校プログラム（工作・英語レッスン・演劇） (ホームステイ)
8月9日（木）	学校プログラム（英語レッスン・日本語） (ホームステイ)
8月10日（金）	学校プログラム（野生生物の講義） ・ さよならパーティー終了後、出発 ・ 在ブリスベン日本国総領事館訪問 (ブリスベン・ホテル泊)
8月11日（土）	・ 8：20 ブリスベン出発（KE124）、仁川空港（韓国）へ ・ 17：30 ソウル着→ホテルへ (ソウル・ホテル泊)
8月12日（日）	・ 午前 韓国人大学生ガイドと班別学習（ソウル市内見学） ・ 18：00 仁川空港出発（KE764）、新潟空港へ ・ 19：50 新潟空港到着→燕市役所吉田庁舎へ ・ 21：15 庁舎到着後、解散

感謝の思い出

分水中学校 2年

石 口 唯

私は出発前さまざまな不安がありました。英語が伝わるか、生活に慣れることができるかなど心配なことばかりでした。

オーストラリアに着くと、何もかもが大きくて美しいことにとても驚きました。動物園では、現地ならではのかわいい動物がのびのびと過ごしていました。オーストラリア観光で私の緊張も少しずつ無くなっていきました。

そしていよいよホストファミリーとの対面の時がきました。私はとてもワクワクしていました。そして、笑顔が素敵なホストファーザーが迎えに来てくれました。私はガイドさん達に言われたように、笑顔であいさつと自己紹介をしました。私は、このとき、すぐドキドキしていました。ファミリーの家に着いて、ホストマザーとホストシスター2人に会いました。家族4人、笑顔がとても素敵な人達でした。ファミリーの家はすごく大きくてきれいでした。そんな美しい環境と明るいファミリーに囲まれて、緊張も無くなっていきました。

そして、ファミリーとの生活や会話をしているときに見つけたことがあります。それは「笑顔がありがとうと言うこと」です。オーストラリアの人はみんな明るくて親切で良い人ばかりでした。そして、いつも小さなことでも「ありがとう」と言っていました。私は、それがすごく素敵なことだなと思い、すぐに実践しました。すると、スクールバディやファミリーとも、もっと仲良くなることができました。そして、生活がさらに楽しくなりました。

そして、最後の日。私は、ファミリーからプレゼントをもらい、現地の寿司屋さんに連れて行ってもらいました。私はすごく名残惜しくなって、なかなか眠れませんでした。ファミリーと別れるとき、ファミリーが「君が一番のファミリーだよ」と言ってくれました。私は嬉しく、そして、さみしくて泣いてしまいました。ファミリーも泣いてくれました。本当に良い人達にめぐり会うことができ

て私は幸せだな、と思いました。

このホームステイで、私は数えきれないくらいのことを学びました。そして、いろいろな事や、気持ちを体験できました。自分の向上にもなり、本当に忘れられない大切な思い出となりました。ホームステイをこんなに楽しくてくださった皆様、本当に感謝しています。ありがとうございました。



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① いろいろな人に積極的に失礼のない会話が出来るように努力する。言葉がなかなか伝わらなくても、あきらめずに伝える。

目標② 日本の文化をきちんと伝え、現地の文化も学び、魅力をたくさん知る。いろいろなことに挑戦し、悔いのない活動ができるようにする。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について できたと思います。いざとなったら、短い言葉や単語でも伝わり、良かったです。あきらめず、自分で伝えることも達成できました。

目標②について これは、すごく良くなりました。たくさんコミュニケーションをとることができ、新発見もたくさんありました。「燕市に行きたい!」と言われた時は嬉しかったです。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

出発前は、いろいろな不安もあったけど、たくさんの方のおかげで、最高の12日間になりました。支えられた点もたくさんありますが、100点以上です(笑)!!

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

ふだん、学校では消極的なので、みんなの役に立てることなどには積極的に、協力的に活動すること。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

はじめは不安でも、必ず最後は「楽しかった!!」で終わることが出来ます。そして、学ぶこともたくさんあります。絶対忘れられない最高の思い出になるので、楽しんでください! Let's, challenge!!

That's OK!

燕中等教育学校 3年

内 山 香

私は今回オーストラリアで最高の思い出を作る事ができました。本当に良い経験になりました。

私のホストファミリーはとてもフレンドリーでした。特にマザーのトニーは私たちを見つけてすぐに、「名前は何？英語には慣れた？」と話しかけてきたのでとても驚きました。あまりにもペラペラしゃべるのでちゃんとついていけるのか不安になりました。家では他の子も同じようにしゃべるので質問に答えるのが精一杯でした。でも、“Thank you”だけはきっちり言うことにしました。するとトニーが“That's OK!”と返してくれました。私は自分の気持ちが相手に伝わった事にとても感動しました。本当に些細な事でしたが、ようやく自分の言いたいことが伝わったことにほっとしました。その後ホストファミリーとはなんとか身振り手振り付きで話せるようになりました。

私が一番心に残っている事はホストファミリーにシティやゴールドコーストに連れて行ってもらい、一緒にショッピングを楽しんだ事です。誰へのお土産か、どれがおススメかなどを話しながら、女性がショッピングを好きなのは、世界共通だと思いました。また、ゴールドコーストの海はとても美しく、みんなで写真をたくさん撮りました。記念に砂浜に名前と日付を書いたりもしました。ホストファミリーは私たちを楽しませるためにたくさんの事をしてくれました。それが一番嬉しかったです。そして、“Thank you”というときまた“That's OK!”と返ってきました。

もう一つ心に残っている事は、シスターのうちの一人が「日本に遊びに行くね！」と言ってくれた事です。日本のいいところをたくさん伝えられてよかったと感じます。「あなたが来るのを楽しみにしているね。ありがとう。」と言うとやはり答えは“That's OK!”でした。



オーストラリアへ行って新しい友達もでき、たくさんの事を知る事ができ本当によかったです。また、オーストラリアに行ってみんなの“That's OK!”が聞きたいです。

みんなありがとう！！

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

オーストラリアの人々とたくさん話をする!! とにかくたくさんコミュニケーションをとる!!

目標②

燕や日本のいいところをたくさん伝えて、あちらの方々に知ってもらえるように努める!!

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

最初は緊張して自分から話しかけられなかった。でも、だんだん自分から質問したりできるようになった!!

目標②について

日本のことをたくさん伝えられた!! そうしたら、ホストファミリーの1人が日本に行きたいと言ってくれた!! 目標達成できてうれしいです!!

●今回参加して、自己評価はどうですか？

目標達成もでき、ホストファミリーに日本の良さを知ってもらえたので90点くらい!! でももう少しバズッと話し合えよかったです!!

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

今度はイギリスとかアメリカとかに行きたい!!
できたら、留学したい!!

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

おっ、寒いから、パーカーとかたくさん持って行ったほうがいいよ!!
電子辞書は必需品!!
迷っている君は絶対参加するべき!!

I Love Australia!

燕北中学校 2年

梅田 愛 永



今年の夏は私にとって忘れられない夏休みになりました。初めは9日間というオーストラリアでの滞在は長いなと思いましたが、行ってみると、あっという間に時間が流れていってオーストラリアで過ごした9日間は短かったです。

私はオーストラリアでは初日から緊張していましたが、ホストファミリーやスクールバディはいい人ばかりで安心してオーストラリアで過ごせました。

ホストファミリーは5人家族でホストファザー、ホストマザー、女性の姉妹が3人での5人家族でした。女性の姉妹のElishaとLauraとKarleeは私よりも年上でお姉ちゃんがいるみたいですごく楽しかったです。

オーストラリアに来て2日しかたっていないころ、ホストマザーと犬の散歩に干潟に行った時に得体の知れない生物をさわってしまい、「What is it?」と聞いたら「それはクラゲ、毒があるよ」と言われて急いで手を洗って少しおどろいたけれど、いろんな意味で記憶に残った日でした。次の日にはブリスベン市街地に行きました。すごく大きな街でイギリスの雰囲気の建物に目をひかれました。その建物はカジノでした。その次の日はゴールドコーストへ行きました。すごくきれいな海でキレイな貝殻もみつけられていい休日でした。

次の日の学校ではスクールバディのGabbyが英語が苦手な私のためにわかりやすく話してくれたのがすごくうれしかったです! Gabbyには兄弟がいて「Do you have sister?」ときいたら答えてくれて、Gabbyは双子だったのでおどろきました。学校から帰ったらよく犬のカーディーと遊びました。カーディーはボールを投げるとちゃんととりに行ってくれて体力のあるわんちゃんでした!

帰るまであと3日という時にビーチに行きました。カニの絵が描いてあるガラスがうめてあってかわいかったです!



さよならパーティーでは前日にも泣いてしまったのですが、当日にも泣いてしまい、話すたびに泣いてしまいました。Gabbyが日本語で書いてくれた手紙が本当にうれしかったです。

この文章を書くたびにホームステイに行ったことを昨日のことのよう思い出します。

オーストラリア サイコー!

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① すすんでお振りをしたい!!

目標② ブリスベンの 学校の人や、ホームステイ先の人と、仲良くなりたい!!

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか?

目標①について お振りはあまりできなくて、やっぱり、もっと積極的に お振りができればよかったな。と思っています。

目標②について ブリスベンの学校の人やホストファミリーは本当に、いい人ばかりで、けっこう早く仲よくなれて、目標達成できてよかったです!

●今回参加して、自己評価はどうですか?

目標1は達成できなかったけど、2は達成できました! 自己評価的には、100点中、75点くらいです!

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは?

本当に楽しい生活で、いい人ばかりだったので、もっとオーストラリアに行ってみたくりました!! 大学生になったら、オーストラリアに留学しに行きたいです!

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

本当なのだから、今後行く人は、行ってみるべきだと思います!! たしか朝と夜は寒いので赤道が近いから暖かいと思ってるけど、体調をくずしかけるので、注意です!(個人的に...)

オーストラリアでの日々

吉田中学校 3年

大 竹 真 湖

私は、今回初めてオーストラリアに行きました。

ホームステイをすることも初めてで、ホストファミリーと話せるか、学校のバディと仲良くなれるかという不安がありました。特に、学校に着いた時はすごくドキドキしていました。

その日の夕方、ホストファミリーと対面しました。私がお世話になったホストファミリーはちょっと変わっていました。それは、留学生が住んでいるということです。中国からの留学生クララは2年、ブラジルからの留学生マリナは1年、この家で留学しているそうです。最初は全く気がつかなくて、後で言われて驚きました。ホストファミリーの子どもはもう大きいため、留学生を受け入れていると言っていました。

その日の夕方、ホストファミリーと対面しました。私がお世話になったホストファミリーはちょっと変わっていました。それは、留学生が住んでいるということです。中国からの留学生クララは2年、ブラジルからの留学生マリナは1年、この家で留学しているそうです。最初は全く気がつかなくて、後で言われて驚きました。ホストファミリーの子どもはもう大きいため、留学生を受け入れていると言っていました。

次の日から学校へ行きました。学校がすごく広くてビックリしました。教室もたくさんあり、科目もいろいろ分かれていて、実際に体験してみて楽しかったです。日本から留学している人もいて驚きました。学校ではたくさんの人と出会い、仲良くなりました。バディの人やバディの友達、授業でペアになった人達、先生方はとても優しく明るい人ばかりでした。そのせいか、最初にあった不安や緊張は無くなり、少しずつ自分から話しかけられるようになりました。

休日には、ホストファミリーが教会に連れて行ってくれました。ホストマザーのお孫さんが産まれたので、洗礼を受ける儀式をしました。讃美歌を歌ったりしましたが、私にはさっぱり分かりませんでした。しかし、初めてだったので、貴重な経験ができたと思っています。また、海へも連れて行ってくれました。ちょうど引き潮で海の真ん中を歩くことができました。両サイドが海で風が気持ちよく、夕日がすごくきれいだったことが印象に残っています。

そして、とうとう別れの日。オーストラリアでの日々は、あっという間に過ぎてしまいました。帰る直前、クララとマリナが「日本に帰ったらメールして！」とメールアドレスを渡してくれました。すごく嬉しかったです。ホストマザーとは、「また来る！！」と約束してきました。今度行く時に、もっと英語が話せるよう、たくさん勉強したいと思います。

本当にありがとうございました。



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

笑顔で積極的に話し、たくさん友達をつくる。

目標②

ホストファミリーのお手伝いをして、コミュニケーションをとる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

学校で授業でペアに自己紹介をして積極的に話し、仲良くなる事ができたので良かったです。

目標②について

洗たくもの干しや皿洗、買い物のお手伝いなどをしていろんな事をすることができたので良かったです。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

最初のほうは、「YES・NO」としか答えられなかったけど、だんだん自分から質問したり、感想を言ったりなどができるようになったので、ちょっとは成長できたかなと思うので良かったです。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

・ALTの先生と積極的に話すこと

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

最初は、伝わらないかもしれないけど、伝えようとする意思があれば相手も分かってくれるので、あきらめずに話すことが大切だと思います。

最高の夏

吉田中学校 3年
大 原 え み

この夏の思い出はブリスベンでの生活です。私は飛行機に乗っているときにとても不安でいっぱいでした。そしてついに現地の学校に着いて、ホストファミリーと会いました。とてもやさしく迎えてくれました。私はそのときやっと緊張がほぐれました。しかし車に乗ると3歳のJessicaが急に泣き出してしまいました。あの時はびっくりしました。

家に着いてからはまず大きなトランポリンがあったことに驚きました。そのトランポリンで遊んでとても楽しかったです。それから夕食を食べて一日が終わりました。

次の日は学校でした。私はその学校のバディの子ととても仲良くなれました。最初はあまり話ができなかったけど、あとからジェスチャーをまじえながら少しずつ話できました。今でもメールをしています。

ブリスベンで一番思い出に残っているのが、ホストファミリーとビーチへ遊びに行ったことです。ビーチはすごくきれいで、ビーチを見ながらランチをしました。とてもおいしかったです。それと貝殻を記念に持ち帰りました！

また、次の日から学校がありました。それで現地の学校の授業を受けました。日本語の授業のときにとてもフレンドリーに話しかけてくれた子たちがいました。その授業はすごく楽しかったです。

ブリスベンでは楽しいことや大変なことが色々ありました。楽しかったことはホストファミリーとの生活とバディの子とのティータイムでした。大変なことは、英語での会話でした。でも会話がどうにかして伝わったときはとてもうれしかったです。

そしてついにお別れのときがきてしまいました。私はとても悲しくて号泣してしまいました。そうして出し物が終わりバディの子たちからプレゼントをもらいました。そのプレゼントは私の宝物です！

最後にホストファザー、おいしい食事を作ってくれてありがとう。ホストマザー、やさしくしてくれてありがとう。バディの2人、仲良くしてくれてありがとう。

皆さんに感謝しています！



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 自分から「あ」かしがらず、積極的に話そうとする。

目標② オーストラリアでたくさんの友達を作る！！

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 友達のかを貸してもらって話したときもあったし、自分から話したときもあったので点数でいうと60点くらいだと思います。

目標②について この2つの目標は、しっかり達成できました。たくさん友達ができました！

●今回参加して、自己評価はどうですか？

ホストファミリーとバディの友達とはコミュニケーションがしっかりととれたと思います。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

英語を話す国に留学してしっかりと英語を身につけたいです。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

英単語を覚えて聞きとれるようにしていったほうがいいと思います。

初めての海外派遣事業

燕中学校 2年

笠原 夕宇璃

私は以前から海外留学というものに興味があり、高校に入学するまでには一度留学してみたいと思っていました。そんな時にこの海外派遣事業派遣生募集を見て、「韓国にも行けるし行ってみようかな」と思い、参加することに決めました。

ブリスベンの学校に着いた時は、日本の学校には無い新鮮さを感じました。例えば、ダンスの授業があったり、ドラマの授業があったりと楽しみながら学べる授業がたくさんありました。生徒一人ひとりが自分の夢に向かって努力し、その夢を学校側がサポートするという素晴らしいシステムがあることに感動しました。日本にもそういったシステムがあればいいのと思いました。

学校生活で印象に残っていることは、日本語の授業です。日本語の授業はほぼ毎日あったので、改めて日本語を勉強する良い機会でした。授業では学校の生徒さん達と折り紙をしたり、日本語で会話をしたり、Jacobが取り組んでいる課題を日本語に訳したりと、日本語の授業はとても楽しかったです。学校生活の中では、バディの子達とネットボールをしたり、ランチを一緒に食べたりと全てが楽しい思い出です。

ホストファミリーの方に初めてお会いした時はとてもやさしそうな印象でした。その日の夜、夕食を食べ終えてから日本から持ってきたお土産を渡しました。とても喜んでくれました。ホームステイ先の家には、11歳と8歳の兄妹がいてバイオリンやギターを披露してくれました(笑)。兄も妹も夕食を終えるとパソコンでゲームをするので、私達との遊びがほとんどありませんでした。ホストファザーやホストマザーに日本語を教えてあげました。数字や色、食べ物の名前を教えました。なのでホストファザーはいつも「ありがとうりんご!」や「ありがとういちご!」などを連発していました。ホームステイ先の家にトランポリンがあったので毎日のように使っていました。久しぶりに跳んだので楽しかったです。



ホストファミリーとの生活も楽しかったし、学校生活も楽しかったし、双子の兄からのプレゼントも嬉しかったし、Lucasの額のキレイさにも感心しました。

今回の派遣事業に関わった全ての方々に感謝します。本当にありがとうございました。

I'll be back to Australia.

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

極力 日本語を使わない

目標②

オーストラリアに染まってくる

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

一緒に ホームステイした友達と
話している時以外は英語だけで生活できて
いたと思います。

目標②について

日本に帰りたいたくなくて
無かったので オーストラリアに染まってこれたと思います。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

日本にいる時より英語を使う機会が多かったので
英語が上達したし、自分一人で責任をもって行動
できました。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

もっと積極的に英語圏に留学したいと思いました。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

英語が出来ないからといって積極的にならないのでは
なくて、今からでも間に合うので ぜひこの海外派遣
事業に参加してほしいです。

ICHIGO★ICHIE

吉田中学校 3年
川上 奈 桜

私はこの夏、初めて日本から出ました。ブリスベンでは、いろいろな場所に行き、いろいろな経験をし、そしていろいろな人に会いました。添乗員の長谷川さんが、「ここでの出会いは一期一会、出会いを大切にしましょう。」というような話をしてくれました。なので、私は出会いを大切にブリスベンでの日々を過ごそうと思いました。

最初はブリスベンの学校に行き、ホストファミリーに初めて会いました。その夜、イタリアからの留学生のシリアンが写真を見ながらホストファミリーの紹介をしてくれました。母のミシェル、父のケン、長女のジェシカと次女のアミリアン。そしてケンの前妻の子ども、サラとジャロッド。家庭は少々複雑でしたが、とても楽しい日々をおくれました。週末にはキャリンデールというショッピングモールに行き、買い物をしました。その次の日は海に連れてってもらいました。めちゃくちゃきれいな海でした。

ブリスベンの学校はとっても広くて、英語の授業や日本語の授業、ダンスや音楽の授業を受けて、とても楽しかったです。いろんな人と友達になり、ダンスの授業ではボーイフレンドもできました。男の子たちの多くは、同じようなかわった髪型をしていました。聞いてみたら、ジャスティン・ビーバーの髪型が流行っているそうです。ランチタイムはバディの日向子さん達と話せてすごく楽しかったです（日向子さんは日本からの留学生です）。

学校でのさよならパーティーの時、バディの人たちや、ホストファミリー、一緒に授業を受けた人たち、さらにボーイフレンドのディラン君が会いに来てくれました。最後は笑顔でお別れできて良かったです。最後にバスに乗る前に友達のゼインがメアドをくれましたので、今でもメールをしています。



今回の海外派遣で、多くの人に出会い、多くの事を学びました。楽しく海外生活を過ごすことができたのは、いろんな人のおかげだと思います。今回の経験を無駄にしないよう日々を楽しんでいこうと思います。「Thanks of all！」

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

- 目標① オーストラリアの文化に触れ、向こうの人の考え方や感じ方を学んでくる。
- 目標② なるべく辞書を使わず、今持っている自分の英語力とジェスチャーでコミュニケーションをとる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

- 目標①について 日本人とは少し違うところ、また似ているところも見つけられて、うれしかったです。
- 目標②について オーストラリアの人と話して、自分が習ってきた英語はほんの一部だということを知りました。でも私が必死に伝えようとする、向こうの人必死に理解してくれました。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

- 自分では、ブリスベンの人達と生活したことにより「リスニング能力」が上達したと思っています。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

- リスニング能力が多少上達したので、英検3級を受けてみたいと思います。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

- せっかく外国の人とコミュニケーションをとれるチャンスをもったんだから、たくさん話すといいんじゃないでしょうか？

Memories of Australia

燕中学校 2年
後藤菜々星

私はこの海外派遣に参加するにあたって、自分の英会話が伝わるか不安はありましたが楽しみでもありました。

私のホストマザーは、一人暮らしのVivienneでした。とても明るくよく笑う人で、英語の受け答えがしっかりできると、「Very good girl」ととても誉めてくれる人でした。Vivienneは日本車のホンダの車に乗っていて、日本車のことを「Very good car!」と言っていました。なぜなら日本の車は高性能で低価格だからだそうです。とても気に入っているようでした。

学校帰りの車の中で信号待ちをしている時のことです。Vivienneが指をさして「That is Japanese car」と言い、また違う車を指さして「That is Japanese car」と言って何台もの日本車を教えてくれました。私はそこで初めて日本車がオーストラリアでたくさん使用されていることがわかり、嬉しく思いました。

現地での学校はオーストラリアに来て一番楽しかった事です。スクールバディのMatinkaは明るくよく話すので、すぐに仲良くなりました。Matinkaの友達とも、自分から話しかけることによって仲良くなれました。私が折り紙で折った鶴をMatinkaにあげると、とても喜び、友達に自慢し、大切に持っていてくれたのでとても嬉しかったです。

外国人はフレンドリーで明るくみんなが日本語で「こんにちは」と言ってきてくれたので少し感動しました。

現地の日本語の授業では日本の文化のことも勉強していました。歌舞伎、相撲、ことわざ、折り紙などを勉強しているそうです。「ことわざを英語で生徒に説明してあげてください」と日本語の先生に言われましたが、英語でことわざを教えるのは意外と難しく、絵をかいたり単語を言うと言われました。日本語の語学の勉強だけではなく、文化も学んでいるところが日本とは大きな違いだと思いました。



この海外派遣を終えて思っていたよりも英会話ができて、自分の自信にもなりました。また今回お世話になった人たちに感謝しています。この貴重な経験を今後に生かしていけるようにしていきたいです。また行ける時があったら行きたいです。

I would like to thank everyone. Thank you very much.



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

- 目標① 積極的にたくさん話しかけることによって
多くの友達を作る。
- 目標② 日本の文化を伝え、オーストラリアの文化も学んでくる。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

- 目標①について 多くの人と話して友達になれたので達成できたと思う。
- 目標②について オーストラリアの文化を知ることができたが、日本の文化は少ししか伝えることができなかった。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

- 自分が思っていたより英会話が通じたので
楽しく過ごせた。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

- まだまだ勉強不足のところもあったのでこれからも英語を
しっかり勉強してまた行きたい。色々な人にお世話になれたので
私も人の役に立てるような大人になりたいと思った。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

- 会話ができれば楽しいので少しでも勉強しておいたほうがよい。

ホームステイを経験して

燕中学校 2年

佐藤 日菜子



今回のオーストラリアでの経験は私にとって忘れることのできない思い出になりました。出発の日、英語が伝わるのかという不安も大きかったですが、とにかく楽しみだったのを覚えています。

ブリスベンに到着した日、オーストラリアの動物がたくさんいる動物園に行きました。そこで私は夢だったコアラを抱っこすることができ、本当に感動しました。他にもカンガルーに餌をあげたりすることができ、とても楽しかったです。

その後、学校に行きホストファミリーと対面しました。私のホストファミリーはホストマザーのビビアンさんと2匹のDogです。家に向かう車の中ではビビアンさんがゆっくりと、簡単な言葉で話かけてくれました。私が答えると「You're clever!」と言ってくれてとても嬉しかったです。相手の言っていることを理解するのは難しかったこともありましたが、ジェスチャーや表情で気持ちを伝えることができたと思います。私は日本の文化を伝えることを目標の一つとしていました。持って行った写真を活用したり、食事の時間にホストマザーから日本について聞かれたことに答えることで伝えられたと思います。特に思い出に残っていることは、7日の夜「Do you know Hiroshima?」から始まった会話です。ビビアンさんは戦争や原爆についての話をしながら涙を流していて、とても驚きました。

学校は日本に比べ自由な雰囲気、学びたいことを学ぶことができるようにいろんな設備が整っていてすごいと思いました。スクールバディのニコルは優しく、いつも笑顔の女の子でした。好きなアイドルの写真を見せあいっこしたのが思い出にのこっています。何回か参加させてもらった日本語の授業では、日本について勉強しているオーストラリアの学生と交流することができてよかったです。

オーストラリアは空がとてもきれいな青色で、自然が豊かな国という印象です。日本車が

が多く、最初は驚きました。

12日間という短い間でしたが、ホームステイをすることができて本当によかったです。素晴らしい出会いがたくさんありました。この経験をただの思い出とするのではなく、これからたくさんの場面で活かしていきたいです。そして、英語だけでなくいろんな知識をつけ、もう一度オーストラリアに行きたいと思います。



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①

積極的にコミュニケーションをとる。友達をつくる。

目標②

日本・燕の文化を伝え、ブリスベンの文化を知る。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について

初めは緊張して、自分から話しかけることができなかったけど、少しずつ自分から笑顔でコミュニケーションをとることができて良かったです。学校の授業でペアになった人といろんな会話をして友情をつくることができました。

目標②について

事前にスケッチブックに日本の文化を紹介する英文を書き、写真を貼ったものを作って持っていたので、それを使い、食事の時間に日本とオーストラリアの違いについて会話をし、オーストラリアの文化を学ぶことができました。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

もっと積極的にホストマザーやバディと会話すればよかったと思います。

言語や文化の違いを越えての交流が英語の力だけでなく「コミュニケーション能力」も成長させてくれたと思います。本当に良い経験ができたと思います。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

もっといろんな国の文化について勉強してみたい。

英語をさらに上達させて、もう一度ブリスベンに行き、ホストマザーと再会して今回より会話を楽しみたい。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

英語が分からなくても、目を見て、ジェスチャーをしながら伝えればほとんどの事は伝わるので、積極的に話しかけて楽しんでください。

海外派遣で学んだこと

燕北中学校 3年
白 椿 悠 稀



英語が苦手の僕は、不安ばかりのまま出発しました。ブリスベンに着き、ファミリーと出会って温かく笑顔で迎えてくださりホッとしたと同時に緊張してしまい、Yesとしか答えられず一日目はスタートしました。コミュニケーションを図るために、まずお母さんとは夕食作りの手伝いがチャンスだと思い、自分から積極的に「何か手伝う事はありますか」とたずね、一緒にピザを作り、そこで「玉ねぎ苦手でしょ」の問いに、「苦手ですが大丈夫、食べてみます」との会話から、野菜ののせ方を聞きながら楽しく作る事でとても距離が縮まりました。お父さんとは、初めて家に行った時、玄関にスズキのバイクが置いてある事を思い出し、僕もモトクロスバイクでレースに出ていることもあり、バイクの事でコミュニケーションをとるようにしました。思った以上にバイクの事に詳しくメーカーの名前などで大変話は盛り上がり、お父さんとも信頼関係ができました。3歳と5歳の息子さんには、一緒に見ていたビデオをもとに会話をしました。そして常に周りを見て小さい事でも会話につながっていくように努めました。

休日にはブリスベンリバーでクルージングを体験させてもらいました。舟の上から見るビルはとても高く、日本と違った造りの橋のすばらしさに感動しました。

学校ではバディがいつもすぐに来てくれて分からない事などとても親切に教えてくれ、仲良くなった友達に「Hey Yuki ! Come on」と呼ばれ、一緒に走ったり、大笑いした事が一番印象に残っています。

さよならパーティーの日もワニなど多くの動物に触れる事ができたり、ヘビを首にまかせてもらったりすばらしい体験もさせてもらいました。

最終日、普段では入る事のできない在ブリスベン日本国総領事館訪問は、僕にとっては衝撃的で、「将来こんな所で働きたい」と思ったほどでした。



言葉や文化の違う外国では自分の意思を的確に伝えるという事が大切で、しっかりと意思を伝えないと誤解を招いたり、コミュニケーションがとれないという事を学びました。

最後にホームステイに行く機会を与えてくださった皆様に心より感謝しています。ありがとうございました。

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① たくさんの外国の人と会話を。
コミュニケーションを通して、仲良くなる。

目標② 燕の伝統的な産業を伝える。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 初めは、なじめずに会話できなかったが自分から積極的に話
していくうちに打ち解けコミュニケーションをとることができた。

目標②について 燕の歴史のことや、洋食器のことなどをホステファミリーに伝える
ことができた。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

外国の人との会話では、自分の立てた目標を達成することができたので、
良かったと思う。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

英語をたくさん話すと、それがもっとある英語を話せるようになること。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

自分から積極的に話しかけること。片言でもいいから自分の意志を伝えることが大事。

私の第二の故郷・Australia!

新潟清心女子中学校 2年

玉川 開華

今回の派遣事業で英語以外にも多くのことを学びました。

1つ目は、積極的に自分の気持ちを伝えるということです。現地の学校で授業をしているとき、現地の生徒さんとペアを組み、私が緊張してなにも話さなかったときがありました。授業が終わった後、もう少し英語を話せばよかったと後悔したことがありました。その時、相手が話すのを待つのではなく、自分から話せばいいのだと思いました。その日から、ホストファミリーとたくさん話すようになりました。

2つ目は、国際性です。私はオーストラリアへ行くまで、海外に行ったことがありませんでした。なので、海外とはこんなところなんだと最初はすごくおどろきました。それから、現地の学校に通ったり、ホームステイをしたりしていると、日本と全然違う!というところが多かったです。特に学校では、中学・高校から多くの選択科目があること、授業で一人一台ノートパソコンを使うことなどです。また、日本語、中国語など外国語の授業がたくさんあり、その語学専用の教室があったりと、世界に目を向けていろいろな授業をしていました。私ももっと世界に目を向けていかなければならないなあと思いました。

学んだことよりも思い出のほうがかぞえきれないほどあります。

ホームステイ先では、ホストシスターのエリーとトランポリンをしたり、ボードのサッカーゲームなどをしました。ホストブラザーのハンドソンはバスケットをやっていて、休日に試合がありました。ホストファミリーと見に行き、活躍する姿を見ました。ホストファザーとマザーには、夕食後に日本語を教えました。「数字の1、2」や「りんご」などを教えました。すごく楽しくて、夕食後はいつも楽しみでした。

学校では、スクールバディのケイトレンとケイトレンの友達と一緒にモーニングティーやランチを食べました。みんなテンションが高くて、一緒にいてすごく楽しかったです。授業で一緒になっ

た生徒全員が優しく、聞き返しても、めんどくさがりせず、ゆっくり質問してくれました。オーストラリアで過ごした時間がすべて思い出です。

不安でいっぱいだった初日から、気付いたら最終日で、風のように日々が過ぎていきました。このような経験ができてすごくよかったです。企画していただいた市の方々、両親、オーストラリアの方々に感謝しています。



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① ホストファミリーや学校の生徒の方などに積極的に話しかけ、日常会話ができるようになりたい。本場の人の会話が聞き取れるようになりたい。

目標② 日本とオーストラリアの文化や、日本の学校とオーストラリアの学校の違いなどを見つけてみたい。些細な事でも気にかけて見てほしい。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について ホストファミリーや授業でいっしょにや、生徒の人と積極的に話しかけられました。でも、答える側にいたかったので質問をできなかったと思います。

目標②について 日本との違いは何個かは見つけることができました。でも、伝統的な文化などを聞くことはできませんでした。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

もう少しホストファミリーやバディの人と話せればよかったと思います。最後のほうは慣れてきて話すことができましたが、最初のほうは緊張してあまり話せなかったのが少し後悔しています。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

ホストファミリーから、パソコンのメールアドレスをもらったので、たくさんメールをしたいです。あと、学校にいる外国人の先生ともできるだけ会話したいです。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

自分がよく分からない言葉などを言っ（も、ホストファミリーは分かるようにしてくれるので、恥ずかしがらずに、たくさん話したほうがいいと思います。

Thank you Australia♥

燕中等教育学校 3年
外山 歩 実

今回の海外派遣事業は、私にとって初めての海外旅行でした。見るもの全てが新鮮で、驚きの連続でした。

楽しかったこと、辛かったこと、嬉しかったことなどいっぱい思い出ができました。その中で一番嬉しかったことは、オーストラリアに新しい家族ができたことです。私のママのTracey、パパのSylvio、弟のAlessandro、妹のBianca、みんなそれぞれすてきな人でした。ママのピザは最高でした。是非これはみんなに食べさせたい！！と思ったので必死に見て覚えて、日本で作りました。パパは、色々なところに連れて行ってくれました。Gold Coast、公園など、またお仕事の手伝いもさせてくれました。Alessandroとは、戦いごっこをして遊んでいました。楽しんでるAlessandroを見てると私もうれしかったです。Biancaとは、お人形遊びをしたり、トランポリンをしたり、“Piggy back!”と言われたりしてとても仲良くなれました。そこで私は、気付いたことがありました。それは、感謝の言葉です。日本語で“ありがとう”、英語で“Thank you”国は違っても言われて心が温くなるのは同じだったことです。そして韓国では、たくさんのコスメを買うことができました。さすが、美容大国！！本当に嬉しかったです。昼食には夏にピッタリの冷麺を食べました。美味しかったです。

最後にこの期間は私にとって、とても特別な時間になりました。コミュニケーションをとる時には言葉で伝えるというより表情や言い方で伝えました。簡単なことではなかったのですが、伝わった時の嬉しさはとても大きかったです。次にまた海外へ行くときにこの経験を活かしたいと思います。

佐野さんはいつも楽しませてくださいました。また、酒井さんが野生のコアラを見つけてくれたときはとても感動しました。長谷川さんはお母さんみたいでとても優しかったです。ありがとうございました。

最高の思い出を作らせてくださった皆様に感謝します。Thank you Australia♥



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標①
* 間違えるのをおそれずに積極的に話す。
← ジェスチャーなども使って、
.....
目標②
* オーストラリアの良いところをたくさん探す。
.....
.....

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について
* 伝わったとき とても嬉しかった。
.....
目標②について
* たくさん見つけることができた。
空... 海... 自然がきれいだった。
.....

●今回参加して、自己評価はどうですか？

.....
* 言葉が伝わらない時があつて少し戸惑、たときもあったが
前の自分より少し大きくなれたと思う。
.....

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

.....
* 英会話を習う
* 外国の人たちと交流する。
.....

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

.....
* 単語をたくさん知、とくこと！
* 笑顔とジェスチャーが大セカ！
.....

Sweet Smile Days

分水中学校 3年

平 沢 葵 衣



“Smile, Smile”私はどんな時でも笑顔でいることを大切にして、今回のホームステイに参加しました。ずっと笑顔でいればすぐに仲良くなれるし、自分も相手も楽しい気持ちになれると思ったからです。そのおかげか、今回の旅はとても楽しくて素敵な旅になりました。

私のホストファミリーは、ママのMelonie、パパのBrendon、おばあちゃんのJudy、元気な姉妹のLucyとLeahの5人家族でとても明るい家族でした。初めて家に着いた時は広い家で驚いていたことと緊張で、上手く話すことができませんでした。でも、ママはたくさん話しかけてくれ、LucyとLeahは初対面の私達をどんどん遊びに誘ってくれたりしたので、緊張が解け、すぐに楽しくなっていました。

次の日には学校へ行きました。私のバディはJacquelineという女の子でJackyと呼んでいました。Jackyは友達が多くて、明るく、優しい人でした。私が会話に困っているときでもずっと笑顔で対応してくれて、とても助かりました。その時改めて笑顔でいることが大切だと感じました。授業は日本語の授業や演劇など、楽しそうな授業がたくさんありました。特に楽しかったのはダンスの授業です。私はそんなにダンスが得意ではありませんが、オーストラリアの生徒達と繰り返し踊っているうちに、これまでにないくらい楽しく踊ることができました。でもその翌日は筋肉痛になって辛かったです。土日はママとLucyとLeahとビーチへ行ったり、家でボンファイアをしたりしました。その日からランボリンで遊んだり、学校ごっこをしてLucyとLeahとの距離がぐっと近くなりました。でも、ずっとこの家に居たい！という思いが強まり、夜に泣きそうになったこともありました。そんな日を繰り返し、いよいよ最終日。20分以上かかる学校までの時間もその日はすごく短く感じました。ファミリーとの別れの時、私はママやパパやおばあちゃんが優しくしてくれたこと、LucyとLeahと毎日遊んだことを思い出し、涙が止まりませんでした。

それほど今回の旅は思い出に残りました。

私はこれから英語力を身につけ、自分の言いたいことが言えるようになったら、もう一度オーストラリアへ行って、またホームステイがしたいです。本当に本当に最高でした！

Thank you♡Australia！！



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

- 目標① 臨機応変に会話，行動力ができるようにしたいです。
積極的にコミュニケーションをとり，自分の気持ちをしっかりと伝えられるよう，頑張ります。
- 目標② 日本との文化の違い，生活習慣などの違いを学び，
そして日本のことをホストファミリーに伝えたいです。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

- 目標①について いざ会話となると，なかなか言葉が出てこなくてちゃんとした会話をするのは難しかったです。でも，うれしい時や嫌な時の気持ちを表現できたことは良かったです。
- 目標②について たくさんの違いを学ぶことができたし，毎日さまざまな発見がありました。オーストラリアと日本の違いをホストファミリーと話せたので良かったです。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

- 初めて海外へ行き，戸惑ったこともたくさんありましたが，最終的に，多くのことを学ぶことができたので良かったです。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

- 英語でちゃんとした会話ができるようになりたいので，しっかり勉強をします。そして，将来は必要な時にパッと英語が話せる人になりたいです。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

- 分からない時は分かるまでしなくて素直に聞いた方が良いと思います。知っている単語でも発音や速さを分からなくなる時があるので...

Beautiful World

分水中学校 3年

前山 未来

世界の人口は1分に137人、1日に20万人、1年で7千万人増えているそうです。そんな目まぐるしく変わる人口の中、私はオーストラリアという場所で、奇跡的な出会いがありました。

目が覚めるとブリスベンに着いていました。その後、観光し、現地でお世話になる高校へ。到着後はホストファミリーと対面する事になり、私は終始緊張して落ち着きがありませんでした。そんな中で私のホストファミリーのママと7歳のビアンカが迎えに来てくれました。第一印象はとにかく明るいという印象でした。会って間もなく、一緒に車に乗って2分ほどで家に着きました。家にはプールがあったり、ペット（猫2匹、犬2匹）もいたり、ガレージがあったりと、日本のイメージで来たら実際驚きます。家の中を案内してもらってからは、9歳のアレックスやパパと会い、皆でご飯を食べて、その日は終わりました。

平日は毎日、高校に通っていました。英語の授業や日本語の授業も受けました。現地の高校では日本語を習っている人が数多くいました。自分の母国語をこんなに一生懸命勉強してくれる人たちがいるのだ、と嬉しい気持ちになりました。皆気さくに話しかけてくれて、一緒に折り紙を折ったり、日本語と英語を一緒に教えあったりができました。逆に日本語を教えてもらう場面もあり、こちらが勉強になったくらいでした。

このホームステイで私は自分が成長した気がします。なぜなら、今まで私は日本で普通にご飯が食べられて、好きな時間にお風呂に入ることができて、何でも自分の好きなようにできることが当たり前だと思っていました。しかし、オーストラリアで実感したことは、とても水が貴重とされていることです。シャワー時間は5分で、とても自分の

いつも通りにはいきません。限られた時間をどう使うか考えて、毎回シャワーを浴びに行きました。だからこそ、日本人でいることの有難さを実感できました。

楽しかったことばかりだと言えば嘘になります。しかし、行って良かったと必ず思います。この機会を与えてくれた全ての人に感謝を込めて。



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 積極的に話す。

目標② オーストラリアでしかできない体験をする。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 英語は"かり聞いてたら、言っている事は理解できるようになってきたけど、単語や文法を知らないと伝える事ができなかった。だから、☆☆☆ぐらい。

目標②について オーストラリアの土地や気候や文化にふれる事ができて、オーストラリアでしかできない体験ができた。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

初めてのホームステイで、分からない言葉や自分の思いを上手く伝える事ができなかったけど、自分なりに努力して言葉を伝えられた。

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

海外へ行く!!
(ハワイとかイギリスとかオーストラリアとか)
たくさん行きたい!!



●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

・英語をちょっと多く話せるようにしよう!!
・シャワーは5分以内で終わらせよう!!
・たぶん食卓に野菜はないから... 気を付けて!!

The second family♡

分水中学校 3年

柳 下 瑞 帆



私は今回の海外派遣で初めて「海外」を体験しました。飛行機の中で、自分の英語は相手に伝わるか、また、相手が話していることをきちんと聞きとれるかなど、とてもたくさんの不安がありました。

オーストラリアに到着し、ホストファミリーのママ、5歳のルーシー、2歳のリアが迎えに来てくれました。最初はとても緊張したけど、ファミリーが笑顔で話しかけてくれたので少しずつ緊張もとれてきました。

ママのメロは、私が英語を聞きとれるように、ゆっくり話してくれたりジェスチャーを使ってくれたりしました。そのおかげで私は英語を聞きとることができました。すごく嬉しかったです。

ルーシーとリアとは、一緒に庭で遊びました。トランポリンをしたり、鬼ごっこをしたり、おうちごっこをしたり（笑）私は中学3年生ということを忘れ、幼い頃に戻ったかのように無邪気に遊びました！ルーシーとリアはvery cute♡でエンジェルちゃんのようなでした。

休日にはゴールドコーストに行ったり、ショッピングをしたりしました。ゴールドコーストではビーチで騒いで騒いで騒ぎまくり、マックでランチをしました。オーストラリアのハンバーガーは大きいのかな？と思って待っていたら日本と全く変わりませんでした。また、夜になると家の近くに野生のカンガルーが来てワイルドだな～と思いました。オーストラリアの星空は日本とどう違うのかな～と思い夜空を見上げてみると、あまりの星の多さに驚きました。「すごい！きれい！」としか言葉が出てきませんでした。

学校では、たくさんの人がフレンドリーに私に話しかけてくれました。スクールバディのジェン、エレンは早口で聞きとるのが難しかったけど、頑張って自分の伝えたい事を伝えました。英語が通じた時は、飛び跳ねたくなるほど嬉しかったです★学校みんなは明るくて賑やかで雰囲気が好きです。日本の学校もオーストラリアの様だったらいいなと思いました。



次にオーストラリアに行くときは、もっともっと英語を勉強してペラペラに話せるようになってから行こうと思いました。ファミリーや友達に会いに行って今度はたくさんたくさん会話したいです。

I'll never forget this experience throughout life.
Thank you, Australia. I love Australia♡

目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 自分の英語に自信をもち、積極的にコミュニケーションをとる。

目標② 外国の文化を学ぶと同時に、日本の文化もたくさんの人に伝える。

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について 間違ってもいいから、自分の伝えたい事を相手に伝えようと努力しました。言葉だけでなくジェスチャーを使う事も大切だということが分かりました。

目標②について ホストファミリーと東日本大震災の事や、日本の食の事など会話できました。ホストファミリーも日本にとっても興味を持ってくれて、嬉しかったです。

●今回参加して、自己評価はどうか？

もっと英単語を学習しておけばよかったと後悔しました。

私が英語が聞きとれなくて困っていると、ホストファミリーやスクールバディがゆっくり話してくれたり、ジェスチャーを使ってくれたりして助かりました♡

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

次、海外に行く時には英語ペラペラになって行きたいので、これからもっと英語を勉強して早く海外に行きたいです。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

せめて英単語は勉強してから行ったほうがいいと思います。

あと… キャリーバッグには、余計な物は入れないほうがいい。1つ1つ重量オーバーになるかも（笑） キャリーにお土産入りきらないかも（笑）

My summer vacation memory

吉田中学校 3年
若 杉 真 由

私はこの夏、オーストラリアのブリスベンへホームステイに行ってきました。海外は今回が初めてでとても緊張したし、それと同時に英語が伝わるのかがとても不安でした。しかし、そんな不安はオーストラリアで生活をしていくごとに無くなっていきました。

ホストファミリーはお父さんとお母さん、日本で言うと高校生のお姉さんと中学生の妹さん、それとペットが犬が2匹とネコが2匹いました。

登下校が一緒の妹のNiamhとはとても仲良くなりました。彼女は音楽とお菓子が好きだと教えてくれました。私もどちらも大好きなのでとても嬉しかったです。

学校では授業を受けてきました。とても広い学校で迷いそうでした。授業はいろいろ受けてきました。音楽の授業や体育の授業、ダンスの授業などたくさん受けてきました。その中でも一番楽しかったのは、日本語の授業とダンスの授業です。日本語の授業は、私達がオーストラリアの生徒達に日本語を教えたり、折り紙の折り方を教えたりしました。日本語教室の先生は写真を撮るのが好きらしく、とてもたくさんの写真を撮ってもらいました。ダンスの授業では最初から最後まで生徒だけでなく、先生のテンションも高くて激しかったです（笑）。ダンスの曲はとてもテンポが速くておどるのが大変だったけど、体を大きく使って動いてとても楽しかったです！「ダンスの激しさとテンションの上がり様は日本とまったく変わらないんだなあ…」と、しみじみ思いました（笑）。

学校での思い出も良かったけれど、一番の思い出はホストファミリーとの休日です。一番の思い出は船に乗ってブリスベンの街へ行ったことです。船ではとても風が気持ちよく、涼しかったです。街では大道芸を見たり、出店みたいな店がたくさんある道を見て回ったりしてとても楽しかったです。

最終日にはホストファミリーからプレゼントをもらいました。とても嬉しくて泣きそうでした。私

もお礼にポストカードを作ってこっそり置いてきました。

私はこれからもっと英語を勉強してもう一度会いに行きたいです。いえ、絶対行きます！そして日本のことや自分のことをもっと教えたいです！

この夏の出来事は私の一生の宝物です！！
行かせてくれた両親だけでなく皆さんに感謝しています。ありがとうございました！



目標の達成と自己評価など

●国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標をかかげましょう。

目標① 自分から積極的に話しかける！
少しでも英語を使って英語で会話したい！！

目標② ホームステイする家の手伝いをする！！
自分のできる限りのことはやって少しでも喜んでもらいたい！！

●さまざまな体験を通して、出発前の目標は達成できましたか？

目標①について わからないことは自分から積極的に聞く
ことができたと思います。

目標②について 初日は何を手伝えばいいかわからなかったけど
自分でできることを見つけて最終日までしっかり手伝いかけました。

●今回参加して、自己評価はどうですか？

人生初のホームステイではとまどうことが多かったけど
自分なりに一生懸命頑張ったので良かったです（笑）

●今回の経験をいかして、これから目指したいこと、挑戦してみたいことは？

行きたいと思う国があるのでもこれから頑張るのは嫌だけど、少しでも
英語を話せるようにして1人で行きたいです。

●今後、海外派遣を希望する人へアドバイスを。

アドバイスができる程の人固ではないので特に言うことはないけど、
少しでもやってみたいと思うならやった方が得だと思います（笑）

ブリスベン派遣生アンケート 集計結果

Q1 海外派遣全体を通じての印象はどうでしたか？

①よかった (15) ②まあまあよかった (1) ③あまりよくなかった (0) ④悪かった (0)

●その理由は？ (具体的に)	・自分にとって初めての体験が多くて、すごく成長できる12日間だと思った。 ・2か国の文化を知れてよかった。 ・とても充実していて、絆も深まることができたから。 ・向こうの文化がたくさん学べたから。生の英語に触れることができたから。 ・ホストファミリーやバディ、街の人など、たくさんの人が優しく接してくれたから。 ・成長できたから。 ・ファミリーやバディがとても親切だったから。文化を学べたから。 ・たのしかったから。 ・オーストラリアのホテルがきれいで居心地が良かった。 ・オーストラリアの学校には日本には無いプログラムがあったのでとても楽しかった。韓国に行けた。動物園に行けた。 ・学校が楽しかった。 ・オーストラリアに行って、いろんな人にめぐりあえてよかった！ ・メンバーがよかった。ホストファミリーがやさしかった。 ・たくさん素晴らしい出会いがあった（派遣生、ホストファミリー、バディ）。大きなトラブルが無かった。 ・日本とは違う生活を体験できておもしろかったです。 ・メンバーが楽しかった。 ・日本以外の国のことが知れてよかったです。
-------------------	---

Q2 日程についてはどうでしたか？

①きつかった (0) ②ややきつかった (5) ③やや楽だった (10) ④楽だった (1)

●体調や精神面で特につらいと感じたときはありますか？	・飛行機の中 ・機内食 ・はじめは、言葉を探すときの“間”がきまづくなってしまうこと。 ・朝と夜が寒すぎた。オーストラリアの言葉は聞きとりにくかった。 ・サラダが出ないのは苦しかった。 ・英語レッスンで英語が意味不明
----------------------------	--

Q3 期間はどうでしたか？

①長かった (0) ②やや長かった (0) ③ちょうどいい (4) ④やや短かった (6) ⑤短かった (6)

Q4 海外派遣の中で、よかった場所や事柄は何ですか？ 特によかった場所◎一つ、その他よかった場所○に記入してください。また、逆によくなかった場所や事柄がありましたか？ あれば×に記入してください。○と×はいくつでも。

場所や事柄		◎	○	×
1	ホストファミリー・ホームステイ	5	1	
2	学校のスクールバディ、先生、生徒たち	1	2	1
3	学校の授業、雰囲気、設備	2	12	2
4	ゴールドコースト	5	1	
5	海・ビーチ		5	
6	ローンパインコアラサンクチュアリ	1	2	
7	ブリスベンのホテル		2	
8	ブリスベン市内		1	
9	キャリンデール（ショッピングセンター）	2	3	
10	動物園		4	
11	野生のコアラを見た公園		1	
12	ジャンピングトランポリン		1	
13	海外派遣生		2	
14	みんなで買い物をしたこと		2	
15	ソウル観光や買い物		3	
16	韓国のホテル			7
17	飛行機の中、機内食、機内泊			6
18	期間が短い			2
19	へびを首に巻いたこと		1	
20	CITY CATに乗ったこと		1	
21	ケーキで誕生日を祝ってもらったこと		1	
22	初めての経験が多かったこと		1	
23	シャワー時間（5分）がきつかった			1
24	サラダが出てこない			1
25	割り込みがすごい			1
26	インターネットがつながらなかった			1
27	ショッピングスケジュールがきつい			1

Q5 ホームステイの期間はどうでしたか？

①長かった (0) ②やや長かった (0) ③ちょうどいい (3) ④やや短かった (7) ⑤短かった (6)

Q6 ホームステイでよかったこと、逆によくなかったり、とまどったりしたことはありましたか？ あれば具体的に書いてください。

【よかったことは？】

- ・ホストファミリーが優しくしてくれたこと。
- ・子供がかわいい
- ・すごく良くしていただいて、最高のホストファミリーでした！全てよかった！
- ・ホストマザーがいろいろと話しかけてくれたこと。
- ・向こうの文化をたくさん学べたこと。
- ・料理がおいしい。みんなが明るくて優しい。行きたい所ややりたいことを聞いて連れて行ってくれた。

- いろんなご飯が食べられた。
- ホストファミリーはみんな優しくて良かった。
- 外国の日常的な生活を感じることができたこと。休日にビーチやショッピングなどに連れて行ってくれたこと。庭が広く、遊具があり、トランポリンやブランコで疲れるまで遊んだこと。
- ホストファザーとマザーがたくさん質問してくれた。
- ホストファミリーの人達が困っているときに助けてくれた。
- 陽気な家庭だった。
- 本当の家族みたいになれてうれしかった。
- ホストファミリーがとても良い人たちで良かったです。

【よくなかったり、とまどったことは？】

- 洗たくが2日に1回と少なかったこと。シャワーは5分間の短い時間で浴びること。
- はじめは、言葉が出ないと申し訳ない気持ちになる。
- 洗ったお皿の洗剤を流さないこと。
- 嫌な時は露骨に嫌な顔をされるから少し傷つく。
- 朝早すぎる事
- 夜、子どもが早く寝るので、夜は、ヒソヒソ話しじゃないと…？と思った。
- 初めあまり会話ができなかったこと。
- 英語が通じない時があった。
- 日本と違うマナー、エチケットがあること。
- ホストファミリーのお父さんとお母さんが子どもにかまい過ぎて、あまりかまってもらえなかった。
- 料理であまり野菜、フルーツなどがなかったこと。料理が足りなかったこと。

Q7 海外派遣(事前準備を含む)の中で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどはありましたか？ あれば具体的に書いてください。

- 家のそうじについて
- 子どもがいきなり部屋へ入ってきたこと。
- みんなと仲良く安全に行くことができるか。現地での生活が想像できなくて不安だった。
- オーストラリアと韓国のホテルの格が違いすぎて怖かったです。
- 会話をつづけること。レジでの会計
- スーツケースの重さ
- 家族や友達やボーイフレンドに会えなくてさみしかった。会いたくなった。
- メールもできなくて悲しかった。
- 飛行機が墜落しないか。
- 自分の英語が通じなかったとき。

Q8 海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- 朝と昼の温度差が激しかったです。
- 韓国のホテルについて
- 事前準備で、もっとみんなと仲良くなれるように、レク的なものがあるとよい。

- 全体的に楽しかった。
- このメンバーだからこそ思い出がたくさんできた。
- お土産を買う時間をたくさんもらえたので、うれしかったです。
- もっとオーストラリアにいたかった。
- ホテルに泊まるのはオーストラリアだけでいいと思う。
- 本当に楽しかった。学校体験は英語レッスン以外の時間がもっとほしいと思った。
- 日本とオーストラリアの良いところや便利なのところがいろいろと知れてとてもうれしかったです。
- 期間を長くしてほしい。

Q9 学校体験、英語レッスンやスクールバディと交流した印象はどうでしたか？

①よかった(13) ②まあまあよかった(2) ③あまりよくなかった(0) ④悪かった(1)

●その理由は？ (具体的に)	• ドラマとダンスの授業がよかった。ドラマは楽しかったけど、ダンスは激しすぎてついていけなかった。 • ドラマやダンスの授業が楽しかった。バディの人がやさしかった。 • 日本とちがう新鮮さがすごく良かったです。ここに通いたいと毎日思いました。 • ドラマの授業やダンス、スポーツ、音楽の授業で普段できないことをたくさんできたから。英語のレッスンがつまらなかったです。 • バディが本当に優しい人だった。英語の授業が役に立った。 • 身近な英語に触れる事ができたから。 • ダンス楽しすぎ。己を捨てて踊った！！日本の学校ではできない事がたくさんできたのでよかったです！！ • バディがとても親切だった。 • 水晶をもらった。モーニングティーを体験できた。バディにプレゼントをもらった。ジェイコブとルーカスに会うことができた。 • 先生もバディもいい人ばかりだった。 • 現地学校の人たちがみんなおもしろかった。日本と授業のやり方が違くておもしろかった。 • バディが話しかけてくれて嬉しかった。日本の学校にはあまりない授業や設備があって楽しかった。 • 学校の生徒といろいろなことを話して楽しかったです。 • 授業は楽しかったけどバディがお姉さますぎて1回しか会わなかった。 • 学校の授業がとても楽しかったです。バディと話して楽しかったです。
-------------------	---

*ホストファミリーへのお土産は何を用意していきしましたか？参考に教えてください。

キティちゃんグッズ／扇子／ゆかた／おりがみ／おにぎりのトランプ／リボン／鉛筆／スプーンセット／燕市のパンフレット／ちりめん／浮世絵／風鈴／うちわ／手ぬぐい／リラックマグッズ／スクラップブック／足ツボを刺激するもの／茶碗と箸／お寿司のシール／食べもの消しゴム／和柄のコースター／ママ手作りの漢字のポストカード／スカイツリーのイラストのティッシュ／和柄の髪かざり／黒い綿棒／だるま落とし／こま／袋／和柄のテーブルクロス／ハンカチ／スリッパ／すしのマグネット／5円玉／万華鏡（キット）／鎚起銅器／和菓子ストラップ／千代紙／桜形のコースター／ネコとフクロウのキーホルダー／ふろしき／ひな人形のミニばん／紙風船

ダンディ村使節団員活動報告目次

ダンディ村使節団員感想・ホストファミリー活動報告

ケイラ・ギブソンさん（Kayla Gibson・ダンディ高校9学年）	42
小林麻砂子さん（二階堂）	43
オリビア・ハミッテさん（Olivia Hammitte・ダンディ高校9学年）	44
中島三恵子さん（新興野）	45
レジーナ・シャーボネアさん（Regina Scharboneau・ダンディ高校9学年）	46
立島里緒さん（吉田浜首町）	47
ローズ・スパークスさん（Rose Sparks・ダンディ中学校8学年）	48
平沢京子さん（燕）	49
オウガスト・オストさん（Mr. August Ost・ダンディ高校教師・引率者）	50
伊藤進吾さん（吉田法花堂）	51

ダンディ村使節団体験活動協力者の感想

茶道体験	石黒道子さん（穀町）	52
料理体験	鴨井智恵子さん（ふれあいパーク久賀美）	52
書道体験	澁谷隆阿さん（国上）	52
通 訳	田中摩耶さん（ダイヤモンド電機㈱）	53
通 訳	笹川夏希さん（神戸市外国語大学3年）	53

平成24年度 姉妹都市ダンディ村使節団滞在日程

日にち	内 容
7月18日（水）	（ダンディ村使節団出発） デトロイト・メトロポリタン国際空港出発
7月19日（木）	・夕刻：成田国際空港到着 ・夜：燕三条駅到着 （ホテル泊）
7月20日（金）	・ホテル出発 ・市長表敬訪問 ・燕市国際交流協会表敬訪問（昼食） ・銀行で両替 ・ALTジェイミー・ジョンストンさんによる日本語レッスン ・新潟ダイヤモンド電子㈱工場見学 ・夜：ダイヤモンド電機㈱・新潟ダイヤモンド電子㈱主催のダンディ村使節団歓迎会・ホストファミリー対面式（新潟ダイヤモンド電子㈱クラブハウスにて）→終了後ホストファミリー宅へ （ホームステイ）
7月21日（土）	ホストファミリーと過ごす （ホームステイ）
7月22日（日）	ホストファミリーと過ごす （ホームステイ）
7月23日（月）	・島上小学校学校訪問（児童との交流・給食・ヲミワケ太鼓見学） ・防災センター見学 （ホームステイ）
7月24日（火）	・料理体験（米粉ピザ、米粉シフォンケーキ） ・茶道体験 （ホームステイ）
7月25日（水）	・書道体験（国上山本覚院） ・燕中等教育学校訪問（グローバル部員と交流） （ホームステイ）
7月26日（木）	・リバーサイド千秋でショッピング ・信濃川大河津資料館見学 （ホームステイ）
7月27日（金）	・産業史料館見学 ・磨き屋一番館訪問（カップ磨き体験） ・こどもの森（カロム体験など）、交通公園 ・夜：吉田まつり民謡流し参加 （ホームステイ）
7月28日（土）	ホストファミリーと過ごす （ホームステイ）
7月29日（日）	・お別れ会 ・午後：ホストファミリーと過ごす （ホームステイ）
7月30日（月）	・午前：燕三条駅出発 ・午後：成田国際空港出発 ※30日ダンディ村に到着（ダンディ村使節団帰国）

ケイラ・ギブソンさん（ダンディ高校9学年）

1. 燕市での滞在で良かったことは？

体験したこと全て！消防署や博物館訪問、ピザやケーキ作り、茶道体験など。毎日忙しく、行く先々でたくさんのことを学びました。思いもよらないやり方で、カップを磨いたり、祭りで踊ったりして楽しかったです。祭りの踊りは本当に楽しかったです。ホストファミリーと一緒に過ごせて本当に良かった。日本の学校の様子を見ることができてとても嬉しかった。たくさん思い出や新しく学んだ習慣をダンディ村に持ち帰り、皆と共有したいと思います。

2. 改善して欲しい点がありますか？

改善すべきことはありません。強いて言えば、2日間別々に過ごす前に、歓迎会でもう少し居心地が良くなると良かったと思います。2日間ホストファミリーだけと一緒に過ごすのは良いことだと思いますが、歓迎会後はとても心細かったです。ただ、私のファミリーの暖かい歓迎がすぐに感じられたので、強いて言えば、ということです。

3. この滞在で考え方が変わりましたか？

言葉で言う以上に、日本は永久に私の考え方を変えてくれました。かつてない程、心が開かれ、適応できるようになりました。

4. この旅に関するコメントを記入して下さい。

ありがとう。ありがとう。ありがとう。ありがとう！



全ての瞬間が楽しかった。またすぐに戻って来て新しい家族と友達に会いたいです！

ケイラ・ギブソンさんホストファミリー
小林麻砂子さん（二階堂）

●活動内容

- ・飛燕夏まつり交通安全パレード見学
- ・自転車でスーパーへ買い物
- ・児童館事業 フラダンス教室
- ・海で水遊び
- ・新潟へショッピング
- ・動物園
- ・花火バスに乗って、花火見学
- ・平日夕方から夜 ウノ、トランプ、かるた、テレビゲーム、花火

●感想

英語を話せない子ども達ですが、一緒に生活することで違和感なく家族になっていました。最初は乗り気でなかったり、緊張していた子どもも、ケイラさんのことが気に入って、保育園のバスの見送りを催促したり、庁舎への迎えに一緒に行ったり充実した毎日でした。夜はウノやトランプで一緒に遊びました。子ども達は夜の「お楽しみ」を毎日楽しみにしていました。

最初は食事や言葉など気を遣っていた部分がありましたが、気持ちを切り替えて、食事については自分たちが食べたいもの、また普段の食事を心がけるようにし、言葉については、日本にいるのだから、日本語で話していいのでは…と、考えるようにしました。彼女が平日の活動で感じたことを彼女から聞くたびに、家族全員で日本とアメリカの違いを勉強させてもらいました。とても楽しい発見でした。

この事業にかかわることができたこと、大変光栄でした。



オリビア・ハミッテさん（ダンディ高校9学年）

1. 燕市での滞在で良かったことは？

景色 家族 習字 学校 ホテル 料理 運動場 全部！！

2. 改善して欲しい点がありますか？

歓迎会でアクティビティがあるといいです。

3. この滞在で考え方が変わりましたか？

はい。慣れるのが大変だろうと思っていたのですが、皆さんがとてもやさしかったので、ゆっくりと理解しました。

4. この旅に関するコメントを記入して下さい。

全日程がよく計画されていると思いました。とても楽しかったです。



オリビア・ハミッテさんホストファミリー
中島三恵子さん（新興野）

●活動内容

土曜・日曜日は家族で買い物に出掛けたり、水族館や日本海の夕日を見に行きました。また、神社やお寺へ案内したり、大勢でバーベキューを楽しみながら花火見物をしました。

平日は、外食し柏崎の花火大会へ出掛けた日もありましたが、主に子ども達とDVDを観たり、ゲームをしたり、折り紙を折ったりと家で過ごしました。

●感想

毎日、蒸し暑い天気と慣れない日本食でオリビアさんも戸惑った事も多々あっただろうと思います。しかし、毎日過ごしているうち自然に笑顔がみられ、子ども達とも打ち解けている様子にほっとしました。神社やお寺、また日本独自の風習など、英語での説明はとても難しく、語学力の必要性を感じました。今回オリビアさんを迎えたことによって、以前子ども達がお世話になったホストファミリーの方々に対し改めて感謝する事ができました。ありがとうございました。



レジーナ・シャーボネアさん（ダンディ高校9学年）

1. 燕市での滞在で良かったことは？

学校 ホテル 消防署 料理 茶道 書道 買い物 磨き体験 景色 運動場で学生たちと遊んだこと 家族

2. 改善して欲しい点がありますか？

歓迎会で家族と会ったとき、一緒に家に行く前に家族と幾つかアクティビティをする。

3. この滞在で考え方が変わりましたか？

はい。全ての経験で物事の見方が変わりました。

4. この旅に関するコメントを記入して下さい。

全部がよく計画され、スムーズに進んで楽しかったです。皆さんが優しく親切で、全部良かったです。



レジーナ・シャーボネアさんホストファミリー
立島里緒さん（吉田浜首町）

●活動内容

- ・燕祭
- ・吉田祭(よさこいに参加、お囃子の体験)
- ・花火
- ・浴衣を着た
- ・ショッピングモールで買い物
- ・せんべい王国
- ・お化け屋敷
- ・うどんを食べた
- ・クレープを食べた

●感想

2年前にDundeeへ自分が行き、恩返しがしたいという気持ちと英語力を高めたいという気持ちでホームステイの受け入れをさせていただきました。留学生はとても優しく、日本のいろんなものに興味を持っていました。アメリカでクレープを食べたことはなく、お気に入りのスイーツになったようです。今回の活動で英語力を高めることができたし、日本にしかないものを発見できるきっかけとなりました。



ローズ・スパークスさん（ダンディ中学校8学年）

1. 燕市での滞在で良かったことは？

たくさんあります。特に、同年代の人たちとアクティビティを一緒にした学校訪問が、本当に楽しかったです。書道や茶道も良かったし、料理も本当に楽しかった。消防署も有意義でした。一緒に買い物も行けたし、ただ車に乗って景色を見るだけでも驚きが多く、家族と一緒に過ごしたことは素晴らしい経験でした。ホストファミリーと色々なことをして最高の時を過ごし、本当の日本の生活を見ることができ、本当の家族のようになりました。通訳のマヤさんとナツキさんもすばらしく、良い友達になりました。

2. 改善して欲しい点がありますか？

ここに来られたのはとても幸運です！こんなことを言うのは失礼かと思いますが、歓迎会で、ホストファミリーをもう少し分かるようになれると良かったと思います。ただ彼らと一緒に送り出されるのは、少し大変で、ぎこちなかったからです。でもイベントは全て楽しかったです。

3. この滞在で考え方が変わりましたか？

はい。特に言葉が通じなくて大変だろうと思っていたのですが、皆さんが優しく受け入れてくれたので、楽に落ち着いて過ごすことができました。食事は魚をたくさん食べるという想像と少し違って、色々違ったものを食べることが分かりました。そして皆さんが、日本語を話せない私たちに、迷惑やいやな顔をせずに、よく理解してくれました。

4. この旅に関するコメントを記入して下さい。



私の人生で最高の時の中の一つで、とても楽しい時間を過ごしました。このような機会に恵まれ、そして経験できて、私は世界一幸せです。この体験で多くのことを学びました。たくさんの友達ができ、ホストファミリーが本当の家族のように大好きになりました。別れがつらくなりますが、また戻ってきます。

ローズ・スパークスさんホストファミリー
平沢京子さん（燕）

●活動内容

- 7月21日 県立三条高校見学、燕まつり見学
- 7月22日 弥彦神社見学、分水まつり見学
- 7月28日 新潟ふるさと村、朱鷺メッセ、新潟市万代ショッピング
- 7月29日 カラオケ、燕市花火大会鑑賞 など

●感想

事前にメールで何度か連絡をとることができていたので、好きなものや興味がありそうなのがわかっていたので良かったと思います。

だが、私達が学習してきた英語がこんなにも通じないとは思ってもみませんでした。単語をつなげて何となく会話することはできたが、文章となると、文法がハチャメチャらしく全く通じないこともありました。

高校生の娘とはうまく会話することができていたし、中学生の娘達とは日本の英語の宿題を教えてもらったり、ファッション雑誌をみたりと楽しく過ごしていたようでした。私達のような大人が関わって良かれと思い、あれこれと日本の事を案内や紹介するより、同世代の同性の子どもが関わるのが彼女にとっても心地よく、リラックスして過ごせたのではないかと思います。



オウガスト・オストさん（ダンディ高校教師・引率者）

1. 燕市での滞在で良かったことは？

たくさんの素敵な人たちとの出会いが本当に嬉しかったです。計画されたイベントは全て興味深く、全員が楽しみました。ずっと一緒にいてくれたスタッフがこの旅をより思い出深いものにしてくれました。そして素晴らしいホストファミリーの皆さん！

2. 改善して欲しい点がありますか？

ホストファミリーと会った後すぐに家に行くことに、女の子たちは少し不安を感じ、歓迎会で何か家族と知り合うようなゲームがあれば、楽しかったらと言っていました。

3. この滞在で考え方が変わりましたか？

全てのことを通して、文化や人々の行動に対する新しい見方ができるようになりました。日本とその国民はアメリカとは大変違い、全日程が学びの経験でした。産業史料館が良かったです。そこで日本人の仕事の細かさを知りました。

4. この旅に関するコメントを記入して下さい。

最後の週に素晴らしい時間をすごしました。市役所で詳細に計画されたツアーは、二度と経験できないことでしょう。日本で過ごせる短い時間の全てを使って動き回る



ことができました。スタッフに空港に迎えに来てもらってから最後の瞬間まで、皆さんにとっても良くしていただきました。言葉では感謝を伝えきれません。本当に色々ありがとうございました！

オウガスト・オストさんホストファミリー 伊藤進吾さん（吉田法花堂）

●活動内容

- 7月21日 弥彦神社→弥彦山（ロープウェイ）→寺泊（魚のアメ横）→出雲崎（天領の里）→燕まつり
- 7月22日 自宅にてバーベキュー
- 7月28日 吉田まつり（法花堂地区に参加）
- 7月29日 花火見学（燕まつり）

●感想

今回、引率の先生を受け入れました。大人の方だったので気遣いをよくしてくれました。英語もゆっくりと丁寧に話していただき英語への親しみが持てました。私達家族は片言の単語しか話せませんでしたが、不自由なくコミュニケーションが取れたと感じています。中学生の息子にとっては大きな財産となったことでしょう。この10日間はとても楽しくあっという間に過ぎてしまいました。今後も機会があったら、また受け入れてみたいです。また、自分達もホームステイに行ってみたいと思いました。



ダンディ村使節団体験活動協力者の感想

茶道体験 石黒道子さん（穀町）

ダンディ村より使節団を迎え、茶道の体験をしてもらいました。お茶は飲めるかな、お菓子はどんなものがよいか、などと考えていましたが、心配は杞憂に終わり、お茶もお菓子もとても喜んでいただけて完食でした。最初はこちらで点てたお茶を飲んでもらい、その後各自でお茶を点てて飲み、また希望者に柄杓を使ってお点前をしてもらいました。抹茶と茶筌を買って帰ったと聞き、とても嬉しく思いました。



料理体験 鴨井智恵子さん（ふれあいパーク久賀美）

7月24日、ダンディ村使節団の子ども達と米粉クッキング教室を行いました。最初に米粉シフォンケーキを作り、オーブンで焼いている時間、フライパンで米粉ピザ作りに挑戦してもらいました。最初は言葉が少なかった子ども達ですが、ピザを作る頃には和やかな雰囲気になり、とても楽しく作りました。



身振り手振りで作ったシフォンケーキとピザ！どちらもうまくでき、よかったです。笑顔が素敵な子ども達と先生で、楽しい時間を過ごすことができました。

書道体験 澁谷隆阿さん（国上・本覚院）

大変な猛暑の中、ダンディ村の子どもが4人、我が山寺にやってきました。古びた建物を眺めて珍しそうにしていました。日本の文化に触れてもらおうということで、お習字を指導しました。題材には「平和」の二文字を選びました。ピースは世界の合言葉。筆など持ったことがないはずですが、それなりに上手く書きました。筆順はかなりいい加減ですが、それにご愛嬌。異文化に触れ、楽しそうに2時間余りを過ごして帰りました。良い思い出になってくれれば幸いです。



通訳 田中摩耶さん（ダイヤモンド電機株式会社）

私は使節団の日本滞在の内、はじめと終わりの四日間を一緒に過ごしました。

英語が通じる一人として共に行動し、会話をしていくことで、少しずつ心を開いてくれていることが感じられました。歓迎会の時点では見知らぬ日本人の中でしたので、これからの数日間が不安でたまらないという様子でした。しかし、最終日は別れることが寂しくて、涙なみだのお別れとなったほど、楽しい時間を過ごし、素敵な関係も築けたようです。燕市の皆様に温かくおもてなし頂けたことがよく分かりました。本当にありがとうございました。



通訳 笹川夏希さん（神戸市外国語大学3年）

私は7月23日から29日までの約一週間、通訳ボランティアとしてダンディ村使節団と市の職員の方と一緒に様々な体験をさせていただきました。通訳のボランティアは初めてで不安もありましたが、フレンドリーな使節団の皆さんや職員の方々のおかげで、とても楽しく参加することが出来ました。

初めての日本で、積極的に、そして楽しそうに色々なことにチャレンジする使節団を見るのはとても楽しく、特に茶道体験で一人一人が慣れない手つきながらも自分自身でお茶をたてている姿はとても微笑ましかったです。あっという間の一週間でしたが、最終日のお別れ会で涙しながら別れを惜しんでくれた皆を見て、本当に参加させていただいてよかったと思いました。



●大原 えみ(吉田中3年)
ブリスベンでの学校生活でその現地の授業を受け、肌で感じる事ができ、とても楽しかったし勉強にもなりました。

●梅田 愛永(燕北中2年)
わたしのオーストラリアで一番心に残ったことは、ホストファミリーと家族のようになれたことです。

●大竹 真湖(吉田中3年)
ホストファミリーやバディの人たちは、とても優しくかったです。学校には明るい人ばかりですごく楽しかったです。

●内山 香(燕中等3年)
至る所で日本との違いが見られとても興味深かったです。特に、朝夕のおやつを欠かさなかったことに驚きました。

●石口 唯(分水中2年)
わたしは、オーストラリアの人々の温かさが心に残りました。この大切な思い出を作らせてくれたみなさんに感謝！

オーストラリア
ブリスベン

●笠原タ字璃(燕中2年)
現地の生徒たちが熱心に日本語を勉強する姿が印象的で、日本語を勉強していることがうれしかった。

●川上 奈桜(吉田中3年)
オーストラリアでは驚くことが多く、とても良い経験になり、有意義な夏休みを終えることができました。

●後藤菜々星(燕中2年)
現地学校の授業を体験しました。日本語の授業でわたしが折紙で鶴を折ってあげたらバディが喜んでくれました。

●佐藤白葉子(燕中2年)
オーストラリアの文化や自然をたくさん感じる事ができました。この経験を将来にいかしたいです。

●白樺 悠稀(燕北中3年)
カンガルーや野生のコアラを見たこと、領事館に見学に行ったことが印象に残った。たくさんの友達が残った。たくさんの友達が残った。

●玉川 開華(新潟清心女子中2年)
わたしの英語が全然通用しないことが身に染みまし

た。これからもっと英語を覚えて、国際化に貢献したいです。

●外山 歩実(燕中等3年)
ホストファミリーと過ごした時間がとても大切なものになりました。I ♥ Australia.

●平沢 葵衣(分水中3年)
日常生活でも学校でも日本との違いに驚きました。その中で毎日のように新たな発見があり本当に楽しかったです。

●前山 未来(分水中3年)
オーストラリアの高校生はとても大人っぽかった。高校では日本語を勉強している人がたくさんいて嬉しかった。

●柳下 瑞帆(分水中3年)
オーストラリアの人たちは、みんな優しく、たくさん思い出ができました。もっと勉強して、またいつか海外に行きます。

●若杉 真由(吉田中3年)
オーストラリアの学校での授業がとても楽しかったです。ダンスの授業がテンション高く最高に楽しかった!!



【8月7日】ダンスの授業に参加。流行りの曲に先生が振り付け、現地の学生と楽しく踊りました。



【8月6日】音楽の授業。ギターとピアノに分かれて、オーストラリアの歌をみんなで歌いながら演奏しました。



【8月3日】クリーブランド・ディストリクト・ステイト・ハイスクールにて。スクールバディとご対面。



【8月10日】楽しかった学校も最終日。お別れパーティーを開き、記念撮影をしながら別れを惜しましました。



【8月9日】日本語の授業に参加。正しい日本語を教えながら、現地の学生からは英語を教わりました。



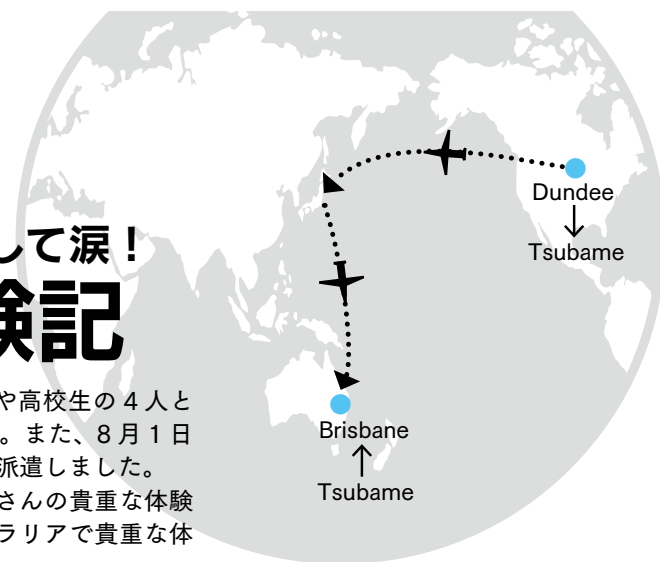
【8月8日】現地校での英語レッスン。ゲーム形式で楽しみながら本場の発音を学ぶことができました。

平成 24 年度燕市国際交流事業

忘れられない！ 驚き！ 発見！ そして涙！ みんなの感動体験記

姉妹都市アメリカ合衆国・ミシガン州ダンディ村の中学生や高校生の4人と引率教師1人が7月19日から30日まで燕市に滞在しました。また、8月1日から12日まで中学生16人をオーストラリア・ブリスベンへ派遣しました。

それぞれホームステイをしながら現地の生活に触れ、たくさんの貴重な体験をしました。ダンディ村の皆さんの滞在中の様子とオーストラリアで貴重な体験をしてきた中学生たちの声を紹介します。



ダンディー村使節団の皆さん（燕市滞在中の様子を紹介します）



▲【7月27日】産業史料館見学



▲【7月24日】ふれあいパーク久賀美 クッキングレッスン



▲【7月20日】市長表敬訪問



▲【7月27日】磨き屋一番館 磨き体験



▲【7月24日】茶道体験



▲【7月20日】国際交流協会訪問



▲【7月27日】こどもの森 カロム体験



▲【7月25日】書道体験



▲【7月23日】島上小学校訪問



▲【7月27日】吉田まつり民謡流し



▲【7月25日】燕中等教育学校訪問



▲【7月23日】防災センター訪問

随員職員のコメント



地域振興課 酒 井 緑

言葉も文化も違う外国でのホームステイに挑戦した派遣生たち。その勇気とチャレンジ精神に敬意を表したいと思います。

現地で懸命に、そして楽しそうに授業に取り組む姿はとても頼もしく感じられました。現地で生きた英語に触れることで、

英語の授業に対する姿勢も変わり、理解力も増したのではないのでしょうか。

また、今回の経験で派遣生の皆さんが得たものは、英語に関することだけではありません。現地で出会ったホストファミリーや学校の先生、生徒たち…彼らくれた優しさや温かさは派遣生の心に響いたはずです。言葉や文化の違いを超えた大事なことを感じ取ったことと思います。これらの経験は、これからの学校生活で、そして社会に出てもきっと役立つことと思います。そして、何か問題にぶつかったときには今回のことを思い出し、乗り越える力にしてほしいと思います。

派遣生の皆さん、無事にこの事業をやり遂げたことに誇りと自信を持って学校生活に励んでください。そして、現地で私たちが受けたと同じように、日常生活の中で皆さんが多くのおしきや温かさをふりまいてくれることを期待しています。



学校教育課 佐 野 大 輔

はじめに中学生の海外派遣研修の引率という形で初めて海外に行く機会をいただき、貴重な経験をさせていただいたことに本当に感謝いたします。

今回参加した派遣生は言葉や文化、習慣の違いなど多くの壁に対して、楽しみながら努力して乗り越え、無事に12日間の研修を終えることができました。写真を撮ってはしゃいだり、一生懸命よさこいを踊っている姿、言いたい英語が出てこなくて悩んでいる姿、楽しくギターを弾いている姿、リーダーとしてみんなを引っ張っている姿、オーストラリアの子と楽しく過ごしている姿…。短い期間で子どもたちが大きく成長していく様子はきらきらと輝いていました。子どもたちにはぜひこの夏の「経験」を「自信」にかえて、自分の目標や将来の夢の実現に向かって突き進んでいってくれることを期待しています。

また、この経験を通して新たにできた仲間やホームステイ先の家族、オーストラリアの友達との出会いを大事にし、今後いろいろな国の人々と関わり、さらにそのつながりを広げていってほしいと思います。私自身もこの子どもたちとの出会いを大切に、これからの成長を見守っていきたくですし、子どもたちから教わった「前向きに取り組む挑戦していくことの大切さ」を今後の仕事に生かしていきます。

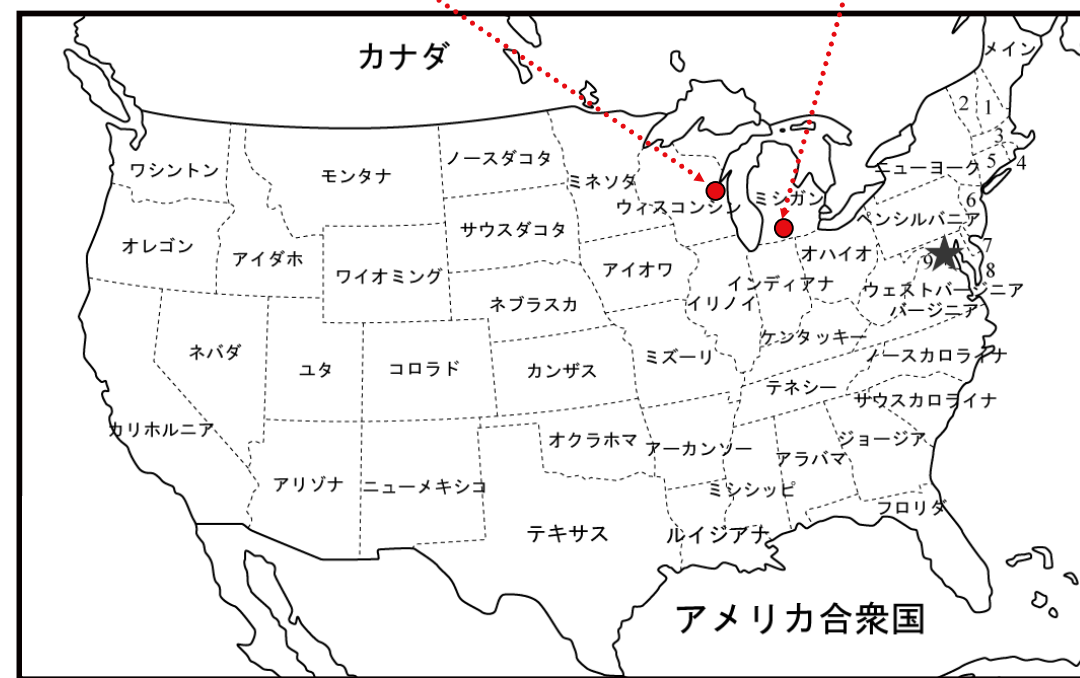
最後になりましたが、この研修に携わった多くの方々や現地で受け入れてくれたオーストラリアの方々、子どもたちを送り出してくださった保護者の方々、そして何より派遣生の子どもたちに本当に感謝いたします。「本当にありがとうございました」燕のコアラより。

★燕市の姉妹都市の位置

- ・アメリカ合衆国ウィスコンシン州シェボイガン市
- ・アメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村

シェボイガン市の位置

ダンディ村の位置



★オーストラリア・ブリスベンの位置



